

開催報告

西条市防災士連絡協議会設立総会

去る7月30日に総合文化会館で、西条市防災士連絡協議会設立総会が開催され、防災士や自治会の方々が多数参加し、災害に強いまちづくりに向け新たなスタートを切りました。

3月11日の東日本大震災では地震、津波により、多数の死者、行方不明者が出るなど被害は極めて甚大です。

西条市においても、近い将来発生が予想される南海地震のような大規模災害や、いつ起こるともれない集中豪雨など、常に自然の脅威にさらされています。

被害を最小限に食い止めるためには、地域の防災士の活



躍が求められています。このため各地域の防災士が連携し、地域防災力を強化することを目的に、防災士連絡協議会（以下「協議会」）を立ち上げ、設立総会を開催しました。

●協議会の役割

この協議会は市内の全防災士、警察署、地方局、消防本部、消防団および連合自治会を会員とし、先進地域の事例紹介や各自主防災組織における課題解決の場として運用されます。

また、つながりの深い地域内の防災士間の連携を図るため、各地区の防災士連絡協議会（以下「地区協議会」）の設立を進めていくこととなりました。

●会長の選任

協議会の会長には、市内でいち早く地区協議会を立ち上げた大町防災士会長の村上善重郎氏が選任されました。

●先進事例発表

大町防災士会長の村上善重郎氏と、橋校区防災士連絡協議会長の伊藤光貞氏にそれぞれの地区協議会立ち上げの経緯や活動内容などについて発表していただきました。



▲橋校区防災士連絡協議会 伊藤光貞会長 ▲大町防災士会 村上善重郎会長

●基調講演

東日本大震災の被災地を視察された西条市防災対策顧問の左官正雄氏が「東日本大震災から学ぼう南海地震への備え」と題して被災地の「生」

の声を伝え、発生が懸念される南海地震には、強い揺れ、津波に対する日頃の備えが命を守るために大切であると話されました。

続く社団法人全国治水砂防協会常務理事の亀江幸二氏は「土砂災害から住民の命を守るために」と題して、尊い5名の命を奪った平成16年台風

災害のような土砂災害に対し、土砂災害の種類、特徴、実態を知り、警戒避難体制を整備し、早めの避難を行う重要性を指摘されました。

今回の協議会設立を契機に西条市では大町や橋地区のような取り組みを市内全域に広げていくとともに、減災につながる「災害に強いまちづくり」を推進していきます。

■問合せ

市庁舎本館危機管理課
危機管理係
TEL 089715211282



フエウォッチング

その土地を知る一番の方法は、食卓をのぞいてみるのだと思っています。ベトナムの食事風景にはぎやか。さまざまな種類のおかずが並べられた食卓を、小さな子からお年寄りまでたくさんの家族で囲み、楽しくおしゃべりしながら食べます。その中心に置かれているのが、大皿に盛られた“ごはん”。ベトナムの主食は、この米。輸出量が世界2位だけあってベトナム人は米をたくさん食べます。ベトナムのお米は、日本の米ほど粘り気はないものの、ベトナムのおかずによく合うので、つついおかわりをしてしまいます。ごはんだけでなく、米を使った料理も豊富。最近日本でも人気が出てきたフォー（麺）や生春巻きの皮なども米から作られています。

「ごはん食べた？」から始まるベトナムのあいさつ。同じ米食文化ということで、少し親近感がわきますよね！



banh beo (バンベオ) 米粉で作られたフエ料理